

耳にして置いて有益だと思ひますから、爰に申上げましたやう、若夫婦は互に打解けて申しますには我等は及ばん限り正しく直なる道を以て舊き貨に新らしみを加へると云ふ事を理想としたいと云ひ或る時夫が妻に向つて、若し下女が病氣に掛つた時は氣の毒ながらお前に看護を任せねばならぬと云ひますと妻は若し斯る事あらば私は僥倖と思ひます私が熱心に親切に看護したならば、其下女は必らず私に馴れ親しむでありますやうと答へました夫曰く若し強情にして不器用な下女が來た時も、忍耐して貫はねばなりませんと云ふと妻は若し強情の女が來た時には慈愛を以て之を和らげ、不器用な者の來りし時は親切を以て之を訓育する事を寧ろ樂しむと致しますと云ひました、夫イスコヤカスは大に喜んで最後に希望を述べて云ふ様、凡そ世の中の最も快き樂しみは、二人とも老人に及んで汝が余より完全にして子が汝に従はん事である、然らば汝は老いて予の爲には益好き伴侶となり、子供には良き母となり、家には名譽ある妻君となる時である、美と善とは若盛りの時のみ

に限らず、徳と智とを修むるに依り、終身増進するものであると云ひました、切に望むのは智を増す事と徳を進める事に心を注がれん事でありませ

感情の教育

樂 天 子

吾人の精神現象を能く穿索して見ますと、その中に苦樂の伴つて居る所の或る現象があります、此の苦樂の伴つて居る所の現象が、即ち感情であります、而して此苦樂の伴つて居る所の精神現象は、人々の全生涯の大部分を支配する所のものでありますから、吾々教育者が兒童を教育するに當つて、其精神に於ける苦樂に關する状態に就ては、能く研究して、相當の教育を施さなければならぬことと思ひます、然るに現在智力に關する事柄に就ては、可なり研究も届き、又其結果より案出されたる方法に依つて夫々教授して居られますけれども、この感情に就ては、感情其の物の性質が智力

のやうに明瞭確實でないといふ點から、又隨つて研究も充分に届きて居らぬ所から吾々教育者が兒童を養成しやうとか、この事項を教へてこんな感情を養成しやうとか、こんな話をして如何なる情緒を惹き起さうとかいふことは、左程考へて居らぬやうに思はれます、然るにこの感情教育の良否は兒童將來の幸不幸に大關係があり、又精神の他の二大現象、即ち智と意との發達の程度如何に依らなければならぬ關係がありますから、感情教育は等閑に附することが出來ぬのであります。

今感情を分析して見れば、物を見るときか、音を聞くとか、甘い物を食ふとか、或は香を嗅ぐとか云ふ如く、物が五官に觸れて生ずる所の快不快があり、又身體の内部の状態より來る所の不快があります、是等を總稱して覺感的感情といひます、此の外に全く精神上の働きから來る所の苦樂があります、是等は情緒といふ名を以て呼んで居ります、故に感情に二大別があつて一を覺感的感情と稱し他を情緒と申します、その情緒なるものに

は、自己に關するものと、他人に關するものと、自己に關係なきものとの別があります、その自己に關するものを例せば恐怖の如き、憤怒の如き、嫉妬の如き、或は名譽富貴に對するもの、如きであります、他人に關するものは例せば愛憎の如き、尊敬の如き、同情の如きであります、自他に關係なきものは、例へば行為の正不正に關して起るもの、又事物に關する道理の了解不了解到伴つて生ずるもの、又天然若しくは人工の美物に關して起るもの、約言すれば、善惡眞偽美醜の概念より生ずるものであります、之を要するに感情には、覺感的感情と情緒の二大別があり、其情緒に主我情、主他情、及び情操の三種別があります次に兒童の感情は大人の感情と趣きを異にする所があるから、左に兒童の感情的生活を畧説し、而して後に其感情の特性を申し述べん。

世に子供を持つて居らる、者は儘く御承知でありませうが、兒童は自分の希望を充たさんとし、自分の思ふやうにせんとして、誠に我儘勝手なものであり、又容易に怒つたり、恐れたり、或は嫉ん

だりするものであり、又他人の苦樂などには殆んど無頓着のものであり、又例せば兒童が大切にして居る所のものを破壊せらるゝときは、忽ち烈火の如く怒つたり、泣いたりして、實に手もつけれぬほど烈いものでありますが、其の時に何か代りの物を與ふれば、復忽ち靜になりて恰も暴風の吹き去つた跡のやうであります、是等は兒童の感情的生活の一般の情態でありますから、其感情の特性は、自己的であり、表現的であり、一時的であり、猛烈的でありと申してよからうと思ひます、兒童の感情にこの特性のあるのは、自然の勢であります、其理由は兒童の智的生活が主として表現的能力に依つて働き、又意力も微弱であるからであります。

今兒童の感情を教育せんとするには、先づよく其特性を了解し、之れに應ずるの道を講じなければなりません、一般に感情を教育するに、二つの方法があります、其一は、消極的修養即ち適當の範圍内に制限すること、其二は積極的修養即ち成長發達せしむること、換言すれば感情の抑制と感

情の鼓舞との二つであります、先づ其抑制の方面に就て述べんに、主我的感情即ち恐怖の如き憤怒の如き、自己の身體若しくは名譽等の保全上又發達上、或る範圍内に於ては必要であるけれども、若し其範圍を超脱するときは、自己の身體上道德上又は社交上に害惡を及ぼすものであるから、適當の範圍内に制限することが最も必要であります、而して其制限に就ても種々の場合があります。

一、兒童の感情が激發したるときは之を抑制するには、其特性の一たる一時的であつて注意力の動搖し易き所を利用するのであります、即ち發情の原因から他に注意を移轉せしむるのであります。

二、身體上道德上等に有害なる感情は之を惹起せしむる機會に成るべく遭遇せしめざるやうにして、その情根を微弱ならしむるにであります、感情に於てもこの理法に基きて取扱はねばなりません。

三、感情抑制の一方便は、兒童の精神の智的方面

を成長せしめ強盛ならしむるのであります、即ち各種の智識を興へ、反省力判断力等を充分に活動せしむるのであります、この方便に依り、例せば兒童に於ける馬鹿らしき恐怖心の如きも、自然に關する智識理法を知得すれば、自然に消滅し、又悲哀の如きも、判断力の發達により事物を比較するの能力に依つて輕減する事を得るが如きであります。

四、下劣なる感情を抑制し微弱たらしむるには、之に對向する所の高尚なる情緒を發達せしめ、強盛ならしむるのであります、例せば兒童の自負心の如きは他人を尊敬する情により、又憤怒の如きは嫉妬の如きは、他人に對する親切心及び愛情等によりて微弱ならしむることを得るが如きであります、要するに高尚なる社交的道德的情緒を發達せしめ、以て下劣なる主我的感情を抑制し微弱たらしむるのであります。

次に積極的方面即ち感情の鼓舞は、社交上道德上必要な情緒は之を發達せしめ強盛ならしむるにあるのです、例せば愛情の如き、同情の如き、

又情操即ち眞善美の觀念より生ずる情の如き、義務心の如き、是等は教育者が兒童をして充分に成長せしめねばならぬことであります、故に前述の通り、是等の情緒を成長發育せしむるには、是等の感情を惹起せしむるにありますが、第一に兒童をして是等の感情を起さしむる事物事情に多く遭遇せしむるやうに誘導しなければなりません、例せば兒童をして實際他人の悲境を見聞せしめて、以て哀憐の情を起さしめ、又は修身上の講話によりて道德的的感情を起さしむるが如き、又高尚なる智力を發達せしめて以て情操を惹起さしむるが如きであります、第二には、兒童は其平生實際する所の人々が、常に起すところの感情を摸倣するものでありますから、父母教師たるものは、平生高尚なる感情的生活をして、兒童をして之に摸倣せしむるやうに心掛ねばなりません。

感情教育の目的とする所は、既に述べたる如く、感情には高下尊卑の差別がありますから、その高下尊卑の感情即ち社交的的感情と情操とを充分に成長發達せしめ、以て其の感情的生活をしてこの

貴尊なる程度に於てなさしむるのであります、抑々吾人真正の幸福は、この貴尊なる程度に於ける感情的生活をなし、得るより成るものと考へます。

薬箱

若い夫婦で形造られた新家庭は別ですがこれはお祖母さんのお嫁入のときの着物であるとか、これはお祖父さんのお産毛であるとか云ふやうな、ふるい物の保存してある御家であれば、押入の奥とか、棚の隅の方などに煤ぶつた薬箱と云ふものが必ずあります、其中を改めると、いろいろの薬が出て参ります、之を何のくだらないと云つて仕舞へばそれまでですが、心して見ると、不言不語の間に時世の様を知ることが出来まして、これを因に種々様々の思出話などが老人の口から湧き出でまして、家庭の楽しい趣味と云ふものは、此處からも澤山拾ひ取ることが出来ると思ひます、

さて其薬箱の中にはどんなものが藏められておられますか、家々に依て多少の相違はありますが、先づ東京の中流社會を中心として申して見ますと、越中富山の萬金丹、寶丹、熊の膽、牛膽、櫻樹の皮、火傷のおまちなひ、即功紙などであります、こんなものを見ながらいろいろ考へて居りますと、これ等の物が遠い昔の世を語るやうな心地がするではありませぬか、醫學の進歩した今の世に生れ合せて私共は、其人々の天賦の幸不幸で、假令どのやうな不足がありませうとも、生命を保持する上に於ては、齊しく感謝しなければならぬと思ひます、今の世には此様な薬箱は要らぬでありませうが、無論内容は違はなければなりません、薬箱の備付と云ふことは大切なことであらうと思ひます、假令どの様に醫療品や薬品が用意してありましても、假令此方に散漫して居るやうなことで、決して急場の役には立ちませぬのみならず、例へば全く特質を失つて仕舞ふ事があります、例へばガーゼの如き、脱脂綿の如き、取扱ひが悪ければ折角消毒した清潔物と云ふ本質は消